



## 第34回 大口町障がい者スポーツ大会 (平成30年6月9日 中央公民館)

### CONTENTS

- ② ★地域ふれあい会食会特集
- ④ ★生活支援サービス「おたすけ隊」
- ⑤ ★第34回 大口町障がい者スポーツ大会
- ⑥ ★平成30年事業計画・予算
- ⑧ ★平成30年度大口町社会福祉協議会 会員募集
- ⑨ ★社会福祉法人 大口町社会福祉協議会 理事・監事・評議員の紹介
- ⑩ ★大口子育て情報ぎゅっと
- ⑪ ★介護豆知識
- ⑫ ★ボランティア情報局
- ⑭ ★運転ボランティアが活躍中  
★御供所西組の芋煮会  
★家族によるご家族のための相談
- ⑮ ★平成30年度大口町防災啓発事業 防災講演会  
★児童・生徒の県外自然体験学習事業
- ⑯ ★福祉施設見学バスツアー参加者募集  
★ひとり親家庭夏休み日帰り旅行

社会福祉法人

## 大口町社会福祉協議会

事務局

月～金(土日祝・年末年始休) 8:30～17:15  
電話 (0587)94-0060 FAX(0587)94-0059  
〒480-0126 大口町伝右一丁目35番地  
大口町健康文化センター(ほほえみプラザ)2階

ホームページ

<http://www.oguchi-shakyo.or.jp>

Eメール

[chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp](mailto:chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp)



3/16 豊田区  
どんぐりころころ



初めての会食会に、子どもを連れてきたママも参加。一度にこんなにたくさんの豊田の女性が集まるのも、珍しい?! (豊田学共)



3/24 上小口萩島地区  
茶々会



萩島ふれあいサロン「茶々会」に、住民の男性も加わった会食会(萩島集会場)「元気?」ご近所さんへの何気ない気づきがあたたかい

地域みんなでささえるしくみ ~地域包括ケアシステムってこういうこと②

# 地域ふれあい会食会特集

年齢を問わず、地域住民の誰でも参加できる「地域ふれあい会食会」。各地のふれあいサロンが中心となつて会食会を開催し、社協も協力しています。

3月24日  
「上小口萩島地区ふれあいサロン茶々会」  
萩島の月1回のサロンは、15名ほどの女性メンバーが中心です。

「今日は、萩島地区始まって以来の、会食会です。」という吉永さんの挨拶のとおり、これまで萩島地区では、男女問わず誰でも参加できる会食会はなかったとのこと。今回は、地域住民の男性も協力して開催し、30名が参加しました。  
会場では、久しぶりに会う高齢のご近所さんに、「元気?」という声かけがあちこちで飛び交います。

お花見弁当と一緒に食べた後は、茶話会の時間。住民のみなさんが持ち寄った作品を鑑賞しながら、萩島の昔話や地域の情報交換など、小地域ならではの交流を楽しみました。  
●上小口萩島地区ふれあいサロン茶々会  
第2土曜日 13時30分～16時  
萩島集会場 参加費 300円

2月26日  
「さつきヶ丘区 おでん大会」  
さつきヶ丘防災センターでは、毎月さまざまな行事が行われていますが、区民のみなさんが楽しみにしているイベントのひとつが、おでん大会。今回は、社協も協力して開催されました。  
スタッフの男性陣が大鍋でおでんを煮る横で、女性陣はいなり寿司を包みます。  
おでん大会には、子どもからお年寄りまで、総勢85名のみなさんが参加。高齢化率の高いさつきヶ丘では、町内でもいち早く、世代間交流と地域のつながりがづくりが積極的に行われています。

●さつきヶ丘区ふれあいサロン  
毎週水曜日 いきいき100歳体操実施中  
10時～16時 さつきヶ丘防災センター  
参加費 50円(モーニング付き100円)

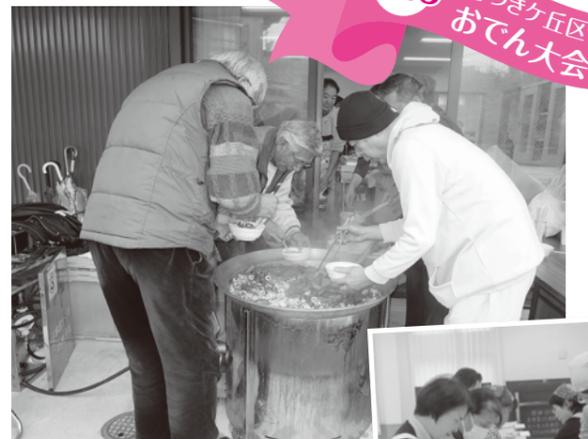
3月16日  
「豊田区ふれあいサロンどんぐりころころ」  
毎週金曜日の午後、豊田学共で「いきいき100歳体操」を行っているサロンのメンバーが中心となり、豊田区の女性に会食会を呼びかけたところ、約90名の参加がありました。  
「みなさんで一緒にお昼を食べようと言って、こんなにたくさんの方が来てくださるとは思わなかった。びっくりしたけど、食事っていいんだなと改めて思いました。」とスタッフの鈴木さん。  
小さな子どもを連れてお母さんも参加し、炊き込みご飯とお吸い物のお昼ごはんを楽しみ、交流を深めました。

●豊田区ふれあいサロンどんぐりころころ  
毎週金曜日 いきいき100歳体操実施中  
13時30分～14時30分 豊田学共  
飲み物持参(参加費原則なし)

3月14日  
「河北区ふれあいサロン 陽だまり」  
3会場持ち回りでサロンを開催している河北。今回は、仲沖集会場で会食会を開催し、73名が参加しました。  
社協が会食会に協力し、催し物もコーディネーター、フラダンスとレクリエーションボランティアのみなさんが発表しました。  
催し物を楽しんで大笑いした後は、いなり寿司で会食。陽だまりのような居場所、小地域のつながりが深められています。

●河北区ふれあいサロン 陽だまり  
第2水曜日 9時30分～11時30分  
河北学共・仲沖集会場・二ツ屋学共  
(2会場持ち回り) 参加費 100円

2/26 さつきヶ丘区  
おでん大会



スタッフのみなさんが、大量のおでんといなり寿司を調理。この団結力は、日頃のつながりの賜物(さつきヶ丘防災センター)



3/14 河北区  
陽だまり



「次のサロンの催しは何?と楽しみにしている参加者の声を聞くと、じゃあ次も催し物で盛り上げよう!という気になります。」と語る、河北区長の蜂矢さん、スタッフの山口さんと中野さん。会食付きの今回は、普段来ない方も参加し、さらに盛況に(仲沖集会場)



高齢者、病気や障がいをお持ちの方、妊娠中・子育て中の方などの、  
生活のちょっとした困りごと、たすけます



# 生活支援サービス「おたすけ隊」

平成30年秋スタートを目指し、準備が始まっています

## 「おたすけ隊」研修に18名が参加

5月31日・6月7日の2日間にわたり、社協主催の「おたすけ隊」研修を生きがい活動支援センターで開催しました。

大口町は、高齢者の同居率が高いと言われてきましたが、この15年間で、ひとり暮らしや高齢者だけの世帯の方が半数近くになりました。中には、身近に頼る人や地域のつながりがない方もあります。

そんな方も利用しやすい生活支援サービスが、「おたすけ隊」。「高い所の物が取れない」「蛍光灯の交換ができない」「ゴミの分別やゴミ捨てに困っている」「買い物は行けるけど、帰りに重い荷物を持って帰れない」「郵便物を出してきて欲しい」など、ちょっとした手助けが欲しいな、誰かたすけてくれないかなというときに、「おたすけ隊」に登録した住民のみなさんがたすけあうしくみを計画しています。

研修では、地域包括支援センターと社協ヘルパーの講師が、実際の困りごとの事例やお宅訪問のワンポイントなどを講義。

研修受講者のみなさんは、生活支援のイメージをふくらませながら、「おたすけ隊」に参加したらどんなお手伝いならできそう？ 生活支援にはどんな工夫が必要？ などをテーマに語り合いました。



郵便物を投かんした証明が、郵便局でもらえたら安心だね？



ヘルパーさんと「おたすけ隊」、似ているけど違うんだね



冷蔵庫にあるもので調理すれば、その人の好みに合うかな？



買い物は、同行できるといいけど、時間が足りないかな？

簡単な家事なら、話し相手をしながらやれそうです！



利用者さんの望むやり方をお聞きしながら、お手伝いします。ヘルパーでも、失敗はありました！



高齢者の方のお宅にお邪魔すると、「兄ちゃんついでに電球替えて〜」などの頼み事をされることがあるんです。回るイスに登ったら、クルクル回っちゃいました！

講師  
大口社協訪問介護事業所  
管理者 石原 由香

講師  
地域包括支援センター  
管理者 井上 健氏

**予告** 社協だより平成30年10月号で「おたすけ隊」の利用を案内

**募集** ちょっとした生活のお手伝いに協力できる方

「おたすけ隊」の利用の流れや申込み方法、利用にかかる協力費(30分以内300円、短時間生活支援は1回100円)の支払い方法など、詳しくは次号の社協だよりでお知らせします。

「おたすけ隊」に協力して下さる地域住民の方を随時募集します。電気関係や大工仕事などが得意な男性も大募集。説明会を行いますので、お気軽に社協までお問い合わせください。

■問合せ 社会福祉協議会 電話0587-94-0060 FAX 0587-94-0059



## 6/9 第34回 大口町障がい者スポーツ大会

中央公民館集會室で、障がい者スポーツ大会を開催。身体障害者福祉協会と心身障害児(者)親の会会員のみなさんを中心に、来賓、民生委員・児童委員、ボランティア、パフォーマンス団体のみなさん、運営スタッフなど総勢298名が参加し、楽しい共生の時間を分かち合いました。

### CHECK! 障がい者に配慮した情報伝達

聴覚障がい者への情報伝達手段には、手話のほかにも、文字を読んで情報を得るための要約筆記があり、障がいのある方に応じた配慮を心掛けています。手話通訳を行う「大口町手話サークル コスモス」(左)、要約筆記を行う「要約筆記スマイル大口」(右)の皆さん



丹羽高校の吹奏楽部92名の演奏は、大迫力！懐かしい曲から、みんな知っている定番の曲まで、参加者を魅了しました。



スポーツの楽しさを伝授し、参加者にポッチャの説明をする、障がい者スポーツ指導員の村田さんと社協職員(石本)



総踊りの太鼓演奏は、音楽の得意な大森さんと仲沖太鼓クラブの山口さん。ふたりの息合った演奏に、会場中が盛り上がりました。

社協では、障がい者スポーツ用備品の貸出を行っています。  
※使用料は無料ですが、貸出には条件があります。  
■問合せ先 社会福祉協議会 電話94-0060

# 平成30年度 事業計画・予算

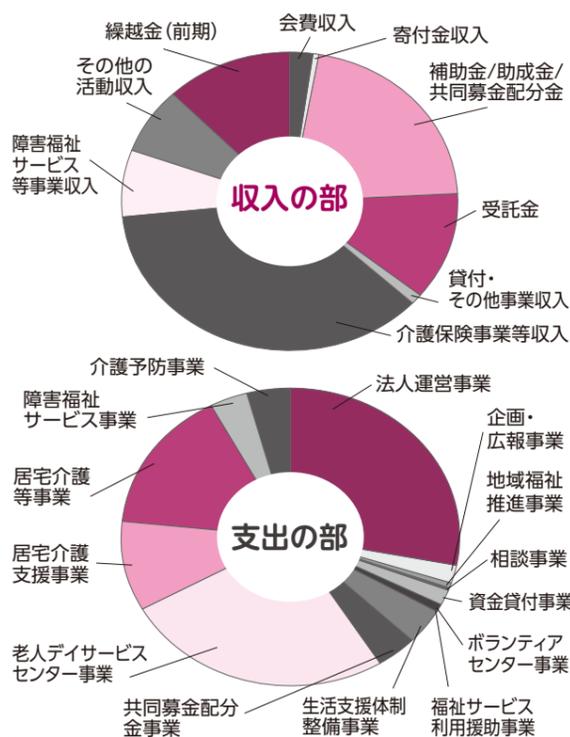
## 平成30年度予算のあらまし

### ●収入の部

項目	金額(単位千円)
会費収入	3,200
寄付金収入	801
補助金/助成金収入/共同募金配分金	37,364
受託金	2,749
貸付・その他事業収入	1,667
介護保険事業等収入	56,970
障害福祉サービス等事業収入	10,427
その他の活動収入	1,900
繰越金(前期)	26,899
収入合計	141,977

### ●支出の部

項目	金額(単位千円)
法人運営事業	42,614
企画・広報事業	1,370
地域福祉推進事業	970
相談事業	575
資金貸付事業	2,500
ボランティアセンター事業	998
福祉サービス利用援助事業	267
生活支援体制整備事業	1,263
共同募金配分金事業	5,554
老人デイサービスセンター事業	41,258
居宅介護支援事業	15,142
居宅介護等事業	26,168
障害福祉サービス事業	2,811
介護予防事業	487
支出合計	141,977



# 誰もが安心して暮らせる 地域づくりを目指します

## 10 共同募金事業

支え合い活動としての共同募金を計画に基づいて展開し、募金への意識を高めます。共同募金配分金事業の推進と充実を図ります。

## 11 貸付事業

低所得世帯や障がい者・高齢者世帯等を対象とする生活福祉資金・くらし資金貸付事業を行います。また貸付後は訪問や相談支援を行いながら、償還指導を行います。

## 12 相談事業

定期的に女性・母子父子自立支援・弁護士の心配ごと相談所を開設します。総合福祉相談窓口を常設し、病気や生活困窮等、さまざまな理由により生じた日常生活の困りごとに関して、幅広く相談に応じます。

## 13 日常生活自立支援事業

専門員による相談窓口を開設し、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方に対し、契約に基づき福祉サービス利用援助、金銭管理、書類や通帳等の預かりサービスを行います。

## 14 貸出事業

町民、行政区、学校、企業等を対象に、車いす・松葉杖・福祉車両・綿菓子機・障がい者スポーツ用具等の各種貸出サービスを行います。

## 15 在宅福祉サービス3事業所の経営

大口社協居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)、訪問介護事業所(ヘルパー)、大口社協デイサービスセンターを経営し、高齢者・障がい者等の利用者に介護サービスを提供します。

## 16 防災・災害事業

大口町防災啓発事業を受託し、防災・災害に関する講演会や人材育成の講座等を開催します。地域の防災訓練へ参加するほか、岩手県遠野市社協と合同で災害時相互応援協定継続事業を行います。

## 17 生活支援体制整備事業

大口町生活支援体制整備事業を受託し、生活支援コーディネーターとして、関係者とのネットワークを築きながら、地域の社会資源やニーズの把握、地域に必要な生活支援サービスについて話し合いを進めます。

住民参加型の生活支援サービス「おたすけ隊」の活動のマッチング・コーディネート等を行います。

## 18 福祉関連事業

福祉事業功労の顕彰や講演会等を開催します。点字投票制度への協力を行うほか、その他社会福祉事業に必要な事業を推進します。

## 1 社協組織の充実と会員の拡大

理事会・評議員会や研修会を開催し、情報の共有と地域福祉への理解を深めながら事業を推進し、会員の拡大により自主財源増収に努めます。

## 2 広報・啓発活動

広報やホームページ、大口町ふれあいまつりにおいて「ふくしわくわくランド」等を通して、社協情報の発信と福祉のPRと啓発に努めます。

## 3 ボランティア活動の強化と拡大

広報やホームページなどさまざまな媒体を通して社協情報を発信します。大口町ふれあいまつりにおいて「ふくしわくわくランド」を開催し、ボランティア団体とともに福祉のPRと啓発に努めます。

## 4 児童福祉

次世代への福祉教育として、小中学校での福祉実践教室や家族福祉教室を開催します。民生委員児童委員のドアノッキング用赤ちゃんプレゼント、子育てサロンや子育てに関するボランティア活動を支援します。

## 5 高齢者福祉

85歳以上の単身高齢者等へおせち料理、米寿の方へお祝い品をお届けします。孤立しやすい高齢者等を含め、地域住民の交流の輪を広げる「地域ふれあい会食会」を実施します。町の委託を受けて高齢者介護のサービスを提供します。

## 6 障がい児者福祉

障がい者スポーツ大会、重度身体障がい者日帰り旅行を開催します。「おもちゃ図書館さくら」や「フリースペースれんげそう」を支援します。町の委託を受けて障がい者の移動支援サービスを提供します。

## 7 母子父子福祉

ひとり親家庭向けの日帰り旅行、就業や資金貸付の相談、母子寡婦福祉会の支援を行います。小・中・高等学校等への入学お祝い金を贈ります。

## 8 ふれあいサロン事業

サロン立ち上げや運営について、備品助成や開催1回につき1,000円の助成をします(上限あり)。サロン用の保険に社協負担で加入するほか、チラシや広報でのPRやサロンどうしの連絡会を行います。

## 9 福祉関係団体の育成・助成

福祉団体に対し助成金を交付し事業の推進を図ります。(身体障害者福祉協会、心身障害児(者)親の会、更生保護女性会、遺族会、母子寡婦福祉会、保護司会、大口しらゆり会、尾北地区聴覚障害者福祉協会)



## 平成30年度 事業方針

近年、少子高齢化により、核家族世帯や単身世帯、高齢者世帯が増加し、孤立や貧困・介護、医療等の福祉課題は、年々複雑多様化しております。これからの時代は、増え続ける福祉課題と、その積み重ねである地域課題に対し、ますます横断的な地域福祉・暮らしを支えるしくみと「地域共生社会」の実現が求められます。本町においても、さまざまな公的サービスや住民主体の取り組みが一体となり、地域全体で住民を丸ごと支えるしくみづくりが始まっております。

社会福祉協議会は、高齢者、障がい者児童、ひとり親家庭、生活困窮者等の分野を問わず、福祉課題を抱える人々を支える福祉活動やボランティア支援、地域の絆と交流を育む居場所づくり、在宅介護サービスの提供等、支え合いのしくみの端を担ってまいりました。その強みをいかし、今年度は新たに、住民参加型の生活支援サービスの事業化に向けて、担い手の育成や運営の体制整備等を重点的に実施します。社会福祉協議会だからこそできる、支え合いのしくみづくりを通じて、いつまでも安心して

暮らし続けることのできる「地域共生社会」を住民の皆様と一緒に考え、さまざまな福祉課題に迅速に対応できる組織であるよう、一層の努力をしてまいります。役員一同気持ちを引き締め、公益性と透明性の高い事業・組織の経営を行いながら、以下の諸事業を実施し、住民の皆様とともに歩む地域福祉の推進、親しまれる介護サービスの提供に努めてまいります。

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会  
会長 舟橋 宣成

## 社会福祉法人 大口町社会福祉協議会 理事・監事・評議員の紹介

### ●理事(11名)

選出区分	氏名
区域における福祉に関する実情に通じている者	長谷川 実
	大森 明
区域において社会福祉事業を経営する団体の役職員	佐野 新
	遠藤 匡彦
ボランティア活動を行う団体の代表者	三浦 京子
地縁組織(自治組織など)代表	松永 秀視
福祉関係団体	伊神 英臣
	安藤 巖
社会福祉事業の経営に識見を有する者	舟橋 宣成
	前田 守文
	宇野 千春

社協は、住民代表や団体代表等の方々にご参加いただき、理事会と評議員会を組織しています。

評議員会を議決機関、監事を監査機関、理事・会長を業務執行者とした経営体制のもと、理事会・評議員会では、事業計画・事業報告及び予算等に関する協議・議決を行います。

社協は、地域住民の方々を支えられている組織であり、皆様の幅広いご意見を取り入れながら、事業を行っています。

### ●新役員紹介

5月29日開催の理事会において、新役員に選任されました。(敬称略)  
副会長 安藤 巖

### ●監事(2名)

選出区分	氏名
財務管理について識見を有する者	渡邊 弘和
社会福祉事業の経営に識見を有する者	前田 和久

### ●会長・副会長(各1名)

選出区分	氏名
会長	舟橋 宣成
副会長	安藤 巖

理事・監事の任期:平成30年度のうち最終のものに関する定時評議員会終結時まで

### ●評議員(33名) 評議員の任期:平成32年度定時評議員会終結時まで

選出区分	氏名		選出区分	氏名		
社会福祉事業や学校等のその他公益事業の経営者	田中 一輝	鈴木 洋子	地縁組織(自治組織、行政区)代表	暮石 晴光	井上 正直	
地域の福祉関係者(民生委員・児童委員)	倉知 静子	近藤みち子		後藤 卓郎	伊澤 清	
	中西 房子	廣瀬 國吉		近藤 喜昭	古川 建治	
	山下 雅子	江口 洋子		加藤 憲司	大森 明輝	
	藤田 豊子	田口都代子		丹羽 雅久	河合 孝宏	
	松坂志づ子	木野 芳子		蜂矢 誠	伊藤 信夫	
	近藤 義文			宮地 宗司	酒井 廣治	
地域の経済団体が適切なものとして推薦する者	社本 義寛	酒井 孝		武田 静雄	宮下 正和	
区域内において社会福祉事業を経営する団体の役職員	水野 政人			ボランティア活動を行う団体の代表	伊藤寿満子	

PICK UP

### 大口町共同募金委員会会長を退任 水野 多三男さん

大口町共同募金委員会の会長を14年間務められた水野多三男さんが、平成30年3月に退任されました。

水野さんはこのほかにも、愛知県共同募金会評議員・副会長等を歴任され、共同募金活動の推進に多大なご尽力をいただき、愛知県共同募金会より感謝状が贈呈されました。



(右)水野 多三男 さん  
(左)愛知県共同募金会事務局長 満口 正己さん

## 平成30年度 大口町社会福祉協議会会員募集

### 社会福祉協議会(社協)会員にご加入をお願い申し上げます

日頃は、本会諸事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

社会福祉協議会(以下、社協)では、毎年7月・8月、町内世帯の皆様には各区の区長さんを通じて、企業・法人様には社協より直接加入のお願いしてまいります。

「誰もが、安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、地域福祉活動を進める社協の事業趣旨にご理解を賜り、会員にご加入いただきますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会  
会長 舟橋 宣成



### ●平成29年度 社協会員加入実績(平成30年3月末時点)

区分	年間会費(一口・円)	加入数	金額(円)
一般会員	500	4,669	2,351,500
賛助会員	1,000	64	109,000
法人会員	3,000	85	528,000
その他		94	25,500
合計			3,014,000

### 社会福祉協議会(社協)とは?

社会福祉協議会は、民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない非営利の民間組織で、略して「社協(しゃきょう)」と呼ばれています。

社会福祉法に基づき、すべての都道府県・市区町村に設置されています。

社協は、地域住民の皆様や社会福祉関係者の参加・協力により、地域福祉推進の役割を担い、地域の特性に合わせて全国で活動しています。

大口社協も、町内の各地域の特性を踏まえつつ、福祉課題や住民のニーズに合わせて、行政だけでは担いきれない非営利・公共性の高い、さまざまな福祉事業を実施しています。

### 社協会員とは?

社協会員とは、社協の理念に賛同し、社協の地域福祉活動を資金面から支えていただく方々です。

一般会員(500円)・賛助会員(1,000円)、法人会員(3,000円)に加入いただくと、社協が皆様の会費を活用して「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」のためのさまざまな事業を実施します(P.6~7の事業計画をご覧ください)。

大口社協の活動は、社協活動に賛同してくださる町民の皆様や企業・法人様からの社協会員の会費、寄附金などによって支えられており、会費は社協が自主性・独立性の高い事業を行う貴重な財源となっています。

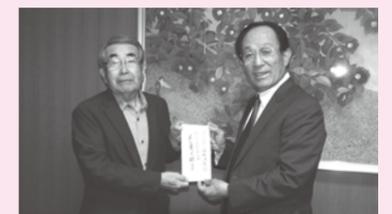
### 善意だより

社会福祉に役立ててほしいと、大口町社会福祉協議会にあたたかい寄付・寄贈が寄せられました。厚くお礼申し上げますとともにご報告します。順不同(3月15日~5月31日 取扱い分)

外坪さわやかクラブ様	22,550円
三浦 京子様	10,000円
“小さな善意で大きな愛の輪”アピタ大口店様	68,569円
株式会社愛知銀行 愛銀ライフサークル様	50,000円
マザックボランティアクラブ様(エコキャップ)	14,094円
マザックボランティアクラブ様(書き損じ葉書)	7,959円
秋田さわやかクラブ様	10,000円
匿名希望	ダイハツ タント スローパーL SAⅢ 1台



株式会社愛知銀行 愛銀ライフサークル様



秋田さわやかクラブ様



高齢者にとっても日常生活を充実させることは重要です。特に打ち込める趣味を持つことは、うつ病や認知症の予防につながります。

これといって趣味もなく何となく過ごしていませんか？趣味を持つことで刺激を受けたり新たな目標を持ったり、自分の存在意義の再確認ができます。

今回は「高齢者におすすめの趣味」についてご紹介します。

## 趣味がもたらす効果とは

### 社会とのつながりや生活に張りを持たせる。

定例会や集会などに参加したり趣味のために出かけることで外出の機会は増えます。新たな交流や社会とのつながりが保て、引きこもりの予防にもつながります。

### 趣味は軽度認知障害の発症を予防します。

毎日の生活を充実させる趣味には軽度認知障害の発症リスクを下げる効果があります。

※軽度認知障害とは認知症の前段階と言われています。

- ①陶芸、木工、裁縫
  - ②絵画、画像加工等のパソコン操作
  - ③旅行、サークル活動、映画鑑賞
  - ④彫刻、芸術 ①よりも②の順で効果があるとされています。
- すぐに効果は表れませんが、未長く続けることが必要です。



## 今からでも始められる趣味とは

### 自宅で楽しめる趣味

俳句、川柳、書道、絵手紙、大人の塗り絵、生け花、盆栽、絵画、英会話、家庭菜園、お菓子作り、料理、パソコン（ネットサーフィン、ブログ、画像加工等）など

### 外出して楽しむ趣味

ボランティア活動、カラオケ、カメラ、釣り、卓球、ウォーキング、登山、ボウリング、グランドゴルフ、小旅行（温泉、城、寺、美術館めぐり等）など

## この趣味にはこんな効果が

最近話題になっている**大人の塗り絵**は、きれいに塗ることに加え配色や色を混ぜる、ぼかしたり色の濃淡をつけたり、集中して細部まで気を配り「頭を使う」ことが脳の活性化につながります。

**ボランティア活動**で地域貢献がしたい、週に1回程度なら時間がある等、ボランティアに興味のある方は始めてみませんか。楽しい時間を過ごすため無理せず自分にできること得意なことを活かして活動しましょう。

趣味は健康寿命につながります。自分に合った趣味を長く続けて、生きがいのある生活を送りましょう。

お問合せ先:社会福祉協議会 電話 94-0060 FAX 94-0059



【編集】大口町NPO登録団体  
「まみーぽけっと」  
【HP】  
<http://www.geocities.jp/mammypocket2003/index.html>

昨年の10月にオープンした「大口町子育て支援センター」はご存知でしょうか？木の香りのする新しい北保育園の中にあります。とても素晴らしいセンターなので、是非、出かけてみてください。

## こんなことをしています！

### おしゃべりカフェ

子育て中の親子の出会いの会です。  
子育てに関する事を一緒に楽しくお話をしましょう。

### 子育て講座

0・1・2歳児の講座・救命講習等。  
子育てのヒントを学びましょう。

### 親子教室

音楽リズム・体操教室・親子ヨガ教室等。  
親子でリフレッシュしましょう。

### 地域の方との交流

地域の方々と一緒に季節の遊びや行事を楽しみましょう。

## 一日の流れ

- 10:00 自由来館
- 11:30 お片付け  
絵本・ふれあい遊び
- 12:00 お休みタイム(閉館)
- 13:00 自由来館
- 14:30 お片付け  
絵本・ふれあい遊び
- 15:00 さようなら



## センターの職員の方にお話を伺いました

Q 訪れるのはどんな方ですか？

A 4か月位から1才の子が多いですね。お母さんだけでなく、お父さんやおばあちゃんもみえますよ。妊婦さんもいらっやいますよ。

Q どういった活動をするのですか？

A 大体「1日の流れ」の沿ったことをしています。親子のスキンシップが図れるような、体操や手遊びなどを取り入れています。初めてのお子さんですと、様々な心配事がありますね。先輩ママさんたちや職員と話すことで解決できることもありますよ。

Q 支援センターのPRをお願いします。

A 私たちにとっても念願だった支援センターです。たたみが敷いてあり、木のおもちゃを多く用意しました。気楽に遊びにきてくださいね。

開館日 月曜日～金曜日

開館時間 10:00～12:00

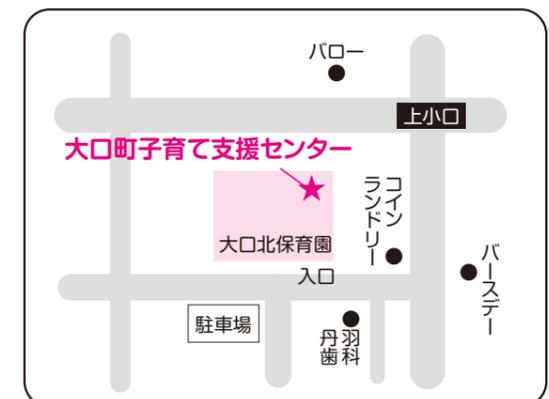
13:00～15:00

休館日 土曜日・日曜日・祝日

大口町大字小口字金三西20番地

(大口町立北保育園内)

TEL 0587-95-3668





## 災害救援ボランティア



### いつもの活動

- はそりを使った炊き出し訓練や、災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練などをおこなっています。
- 防災に関する各種研修・講座(避難所運営ゲーム(HUG)、災害図上訓練(DIG))への参加や、講師活動、実施協力などで活動しています。
- 東日本大震災復興支援ボランティア活動に参加、その後も町内でおこなわれている被災地支援活動(支援物資の袋詰め等)に参加しています。
- ふれあいまつりでブース出展をしています。



### 出張講座では

引っ張っても結び目が動かないが、必要となれば、水で濡れていたりしても簡単にほぐすこともできる「もやい結び」や、ケガをしたときの応急処置として三角巾の使い方の体験をします。また、新聞紙で簡単に作れるスリッパの作成もします。



前回の出前講座の様子

# ボランティア情報局

## 夏休みボランティア出前講座

☆いよいよ7年目を迎えます～☆

日程・時間	場所	実施サークル・内容など (詳しくはサークル紹介で)
8月17日(金) 10:00~11:00 (予定)	北児童センター ☎95-7141	<b>大口おもちゃ図書館 さくら</b> 「いろいろなおもちゃの遊び方を体験しよう!」障がいの有無を問わず、みんなで楽しく遊べるおもちゃ遊びなど。
8月10日(金) 13:30~14:30 (予定)	西児童センター ☎96-0481	<b>災害救援ボランティア</b> いざというときに、新聞紙やロープが役に立つことの体験をします。
8月23日(木) 13:30~14:30 (予定)	南児童センター ☎95-3528	<b>レクリエーションボランティア ここね</b> 心も体も温まるレクリエーションやゲームをみんなで楽しめます。

### ボランティア出前講座の目的と参加対象は～?

目的は、簡単で楽しい体験をとおしてボランティア活動への関心を深めてもらうことと、より多くの子どもたちへ福祉教育を推進していくことです。参加対象は、児童センターへ来所する児童、地域住民どなたでもOKです。

連絡先: ボランティア連絡協議会  
☎ 0587-94-0060

みなさんのカレンダーにも、書いておいてくださいね。



## レクリエーションボランティア ここね

### いつもの活動

- 「ここね」「心も体も温まるのよ」と言っていただけのようなレクリエーションボランティアを目指して、今年の1月に誕生しました。
- 大口町内のつどいの場での出前レクリエーションを行っています。
- 合唱や手遊びなどサークルメンバーが得意なことを活かしたレクリエーションを行います。これまで「おおきなかぶ」のオリジナル劇を披露したことがあります。
- (サークルの抱負)「参加する子どもたちが無理なく楽しんで(笑顔を大切に)行えればと思います」



### 出張講座では

子ども向けのレクリエーションやゲームでみなさんと楽しみましょう。



活動の様子

## 大口おもちゃ図書館 さくら

### いつもの活動

- 毎月第2土曜日・第3木曜日におもちゃ図書館を開催しています。おもちゃ図書館は心身の発達に遅れがあってもみんなが楽しくおもちゃで遊ぶことのできる場所です。
- あなたも楽しいおもちゃ遊びを見つけてみませんか?



### 出張講座では

いろいろなおもちゃにふれて、遊んでみましょう。パネルシアターも楽しみにしてくださいね。



前回の出前出張の様子

### 編集後記 ■ 取材・作成/編集ボランティア OZ

#### 大人の反省

- 運動会のかげっこのとき、「しっかり手をふって走るのよ」と言ったら、よーいどんの後に「おかあさ～ん」とこっちを向いて手をふって走った息子。
- 何でも凍らせてみたい我が子。あるとき、キッチンのスポンジが全部(2個)冷凍されていたので、「スポンジを冷凍したら、洗い物ができんぞよ!」と言ったら、翌日、1個だけ冷凍されていた。子どもは、いつも一生懸命、親にこたえているんだと感じた一瞬でした。

平成30年度大口町防災啓発事業 防災講演会

# 奇跡の花で、寄り添い 忘れない防災リレーを!

～こどもの命を守るために 一番の防災は忘れないこと～

宮城県石巻市の幼稚園に通っていた6歳の佐藤愛梨ちゃん。幼稚園バスが東日本大震災の津波に巻き込まれ、帰らぬ人となりました。

数年後、彼女の最期の場所に、真っ白な花が咲きました。

命の大切さと忘れない防災のシンボルとして、「あいりちゃん」と名付けたフランスギクを増やす活動を続ける「アイリンブループロジェクト」。代表の菅原氏が、奇跡の花の物語を伝えます。

こどもの命を守る防災をともに考え、奇跡の花を増やす活動に参加してみませんか。



妹の珠莉ちゃんが撮影した「あいりちゃん」

参加無料  
奇跡の花の種  
プレゼント  
します!

## 7.14<sup>±</sup>

13:30～15:00終了予定  
(受付開始 13:00～)



講師 アイリンブループロジェクト実行委員会  
(宮城県仙台市)

代表 菅原 淳一 氏

- 場 所 大口町健康文化センター4階 ほほえみホール
- 参加費 500円
- 対象者 防災に関心のある方ならどなたでも参加可
- 内 容 愛梨ちゃんのお母さんからのビデオレター「奇跡の花の物語」講話、短編映画『ふうせんふふふ、そら ららら』上映 ほか
- 主 催 大口町社会福祉協議会
- 問合せ 電話 0587-94-0060  
FAX 0587-94-0059  
この防災講演会は、社会福祉協議会が大口町より防災啓発事業の委託を受けて開催します

## 参加者募集

### 児童・生徒の県外自然体験学習事業



- 目的 自然と接する機会が少なくなった子どもたちに、日常生活において体感することができない里山の暮らしや震災復興などを体験することによって、大口町の魅力をあらためて知り、この町の将来を担う子どもたちが描く「まちづくり」の一助になることを目的としています。
- 主 催 絆つなぐネット(大口町社会福祉協議会登録団体)
- 後 援 社会福祉法人 大口町社会福祉協議会 絆・11(大口町登録団体)
- 日 時 8月27日(月)～29日(水)
- 対 象 小学5年生から中学3年生まで
- 行き先 岩手県遠野市内、東日本大震災の被災地 ※岩手県へは飛行機で移動します
- 内 容 農家で宿泊・飲食する農村体感、東日本大震災復興支援活動
- 参加費 15,000 円(農村民宿代金)
- 募集人数 10 名(定員になり次第締め切ります)
- 申込み 平成30年7月2日(月)から7月14日(土)まで
- 申込み先 大口町社会福祉協議会 電話 94-0060  
大口町伝右一丁目35番地 健康文化センター2階

## キャッチ! おおぐちの地域の絆づくり

### 大屋敷新田地区サロン いっぱく茶屋 運転ボランティアが活躍中



「送ってもらえるおかげで、楽しくサロンに参加できて、助かっています!」と笑顔のみなさん(新田集会場)

新田地区では、高齢者等の見守りを兼ねたサロンを月1回開催。徒歩や自転車から来るのが難しい方を運転ボランティアが車で送迎し、参加を支援しています。

新田地区住民の運転ボランティアさんは、現在2名体制。社協の運転ボランティア養成講座を受講し、安心・安全なサロン送迎を行っています。

いっぱい茶屋への送迎を希望する新田地区住民の方は、ボランティアさんへ相談が必要です。詳しくは社会福祉協議会までお問い合わせください。

社会福祉協議会  
94-0060

●大屋敷新田地区  
ふれあいサロン いっぱく茶屋  
第2土曜日9時30分～11時30分  
新田集会場 参加費 100円

### 御供所西組の芋煮会



(西御供所会場)

豊田区の御供所(ごごしよ)は、昔の小字単位の集落で、堀尾跡公園の南に位置します。

大口町は、11の行政区があり、南側には、昔ながらの小さな集落ごとの地縁(地域のつながり)が色濃く残っているという地域性があります。

4月22日(日)、西御供所会場の広場では、御供所西組のみなさんが、大鍋で芋入りの豚汁を作っていました。

災害時にも役立つように、ドラム缶かまどに、薪を使用。火力を調整しながら、大鍋で芋や野菜、肉などの具材を煮込んでいたのは、男性陣です。

集会場の中では、女性陣が材料の下ごしらえをしたり、炊き込みご飯でおにぎりを握ったりしていました。

集会場には、次々と西組やその周辺の親子連れ、お年寄りが訪れ、芋入り豚汁とおにぎり、漬物で、にぎやかな昼食会。

ゲームを楽しむ子どもたちの笑い声が響く会場で、身近なご近所さんどうし、世代を超えた見守りが自然に行われていました。

◆ ◆ ◆  
御供所西組で芋煮会が始まったきっかけは、平成24年度の高齢者地域見守り支援合いを考える会の話し合い。

地域の絆を深める交流会として、西組では、芋煮会をやるう!と、住民のみなさんが自分たちで考えてスタートしました。

今年で5年目を迎えた芋煮会。地域の絆づくりの大切なヒントが、ここにあると感じました。(社協生活支援コーディネーター)

### 家族によるご家族のための相談

- 対象者 相談支援を希望する精神疾患の方を抱えるご家族
- 費用 無料
- 利用方法 大口町は、ほほえみプラザ4階 和室へおいでください。個別相談は2階 相談室へご案内します。扶桑町は、直接会場においでください。
- 目的 精神疾患や引きこもりの悩みをもつその家族が、同じ悩みや苦しみを体験したピア(仲間)から、経験に基づくアドバイスを受けることにより、孤立感を和らげ、悩みを共有し合うことで支え合い、安定した地域生活を送れるようになります。

ひとりで  
悩まないで!  
私たちがいます



#### ■面談相談日

担当	会場	日時
大口町	健康文化センター ほほえみプラザ2階 相談室	毎月第2木曜日 13:30～15:30
扶桑町	扶桑町総合福祉センター 2階 相談ルーム	毎月第4木曜日 13:30～15:30

大口町は、大口町家族会の大口しらゆり会  
扶桑町は、扶桑町家族会の扶桑しらゆり会が担当します。

■問合せ先 大口町福祉子ども課  
大口町社会福祉協議会 94-0060

参加者全員にもれなく  
施設パンフレットのセット差し上げます!

## 町内福祉施設見学バスツアー 参加者募集



- 日時 8月8日(水)  
※10時30分集合、14時30分頃解散予定
- 集合場所 大口町健康文化センター玄関前
- 行き先 下記の町内施設一覧のとおり
- 定員 30名(※定員になり次第、受付を終了)
- 対象者 町内在住・在勤の方  
家族や友人どうしグループでの参加、小学3年生以上はお子さんのみの参加もOK!  
※お子さんは、小学校1年生以上(1・2年生は、必ず保護者同伴をお願いします)
- 参加費 1人520円(一期一会荘の給食代実費)
- 申込み 平成30年7月4日(水) 午前9時から  
窓口・電話で受け付けます。
- 申込先 社会福祉協議会 電話 94-0060

施設種別	施設名
サービス付き高齢者向け住宅	ゴールドエイジ株式会社 ゴールドエイジ 大口
高齢者デイサービス 幼児・障がい者等自主事業	特定非営利活動法人 共生ホーム結 デイサービスゆい
軽費老人ホーム 高齢者デイサービス	社会福祉法人 一期一会福祉会 一期一会荘

### お子さんが、福祉を知るきっかけに!

身の回りのことが自分でできる小学3年生以上のお子さんは、保護者が一緒になくても参加できます。

お年寄りや障がいをもつ方と交流したり、生活や活動の様子を見せていただいたりするため、福祉に関わる作文やポスターなど、夏休みの課題の題材としても活用できます。

きょうだいやお友だちどうしで参加してくださいね♪

### 大人の方が、施設を知るきっかけに!

町内のどこに施設があり、どのようなサービスを受けられるのか知っていますか?

何かきっかけがないと、施設の中のことを知る機会は少ないかもしれません。

当日は、施設職員の方のご案内による施設内見学のほか、給食の試食もあります。

将来への備えとして、大人の方にもぜひ参加していただきたいツアーです!

## 参加者募集 赤い羽根共同募金配分金事業 ひとり親家庭夏休み日帰り旅行



- 日時 8月4日(土) ※6時45分出発
- 集合場所 大口町役場南側 三菱UFJ銀行ATM前
- 行き先 大阪市 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
- 参加要件 町内在住のひとり親家庭で、子どもさんが18歳(高校生)以下の親子
- 参加費 大人(中学生以上) 5,000円  
小人(4歳以上~小学生) 3,000円  
(ユニバーサル・スタジオ・ジャパンパスポートの料金を含む)

- 参加費に含まれるもの  
往復バス代、バス旅行傷害保険、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンパスポート  
※食事代は含まれません
- 定員 45名(定員になり次第締め切ります)
- 申込み 平成30年7月2日(月) 午前9時から  
窓口・電話で受け付けます。
- 申込み先 社会福祉協議会 電話 94-0060